

ご質問をどうぞ!

Q. 猫エイズのワクチンがあるらしいと聞いたのですが?

A. 日本でも2008年8月から接種可能になりました。初年度は2~3週間ごとに3回の接種が必要だったり、また接種前に感染の有無を調べる検査も受けなければなりません。今までのワクチンと一緒に接種はできませんので、新しいワクチンプログラムが必要になります。まだ様子見している動物病院も多いので、まずかかりつけの獣医師にご相談ください。

ワクチン接種によってつくられる免疫は一生続くものではありません。成猫になっても継続して受けるようにしましょう。

Q. アナフィラキシーが怖いのでワクチン接種をためらっています…

A. 確かに、ワクチンによる副作用の可能性はゼロではありません。接種部位の腫れや軽い発熱ぐらいなら、治療もいりませんが、ごくまれにアナフィラキシーと呼ばれる、重度のアレルギー反応が起きることがあり、呼吸困難に陥るなど生命に関わる症状を示します。しかし、アナフィラキシーが起きる確率は極めて低く、それを恐れてワクチン接種をしないのは、賢明な選択とはいえません。感染症のリスクのほうがより大きいので、心配な場合は注射したあとすぐに帰らず、待合室で15分ぐらい様子を見てあげれば、万一の備えにもなります。

風邪の季節は気をつけないとね



必読! ワクチン講座 ワクチン接種 済んでますか?

猫には危険な感染症がたくさんありますが、その多くはワクチン接種で防げます。病気に対する準備をきちんとし、愛猫を守ってあげましょう。

ワクチン接種で予防できる感染症

猫汎白血球減少症 (猫伝染性腸炎)

【原因】猫のバルボウイルスが原因。感染力が強く、感染後急激に症状が出て、体力の弱い子猫など一日で死亡することもある恐ろしい病気です。
【感染経路】感染猫との接触、感染猫の便や尿、嘔吐物で汚染された物、またノミなどの外部寄生虫によっても拡散されます。
【症状】最初は食欲がなくなり、水も飲まずにうずくまった状態になります。白血球が極端に減少し、発熱、激しい嘔吐、時として血便や下痢が始まり脱水症状を引き起こします。

猫カリシウイルス感染症 (FCV)

【原因】猫のカリシウイルスが原因で、猫のインフルエンザとも呼ばれています。
【感染経路】感染猫との直接接触のほか、クシャミの飛沫、手、衣服、食器などの媒介物によっても感染。
【症状】初期症状は、クシャミ、鼻水、咳、発熱など、鼻気管炎とよく似ています。さらに症状が進むと、舌や口の周辺に潰瘍ができます。2次感染が起きると、肺炎を併発して死亡することもあります。

猫白血球ウイルス感染症 (FelV)

【原因】オンコウイルス(レトロウイルスの一種)が原因。
【感染経路】ウイルスは感染猫の唾液や血液などに含まれ、猫どうしのケンカによる接触などで感染します。
【症状】白血病を引き起こしたり、免疫力が低下し、流産や腎臓病、リンパ腫など様々な病気の原因にも。とくに生後間もない子猫が感染すると発病しやすく死亡率も高いです。

猫ウイルス性鼻気管炎 (FVR)

【原因】猫のヘルペスウイルスが原因。
【感染経路】感染猫のクシャミや分泌物などからうつり、猫の「鼻カゼ」ともいわれています。
【症状】症状は、急な元氣消失や食欲消失、発熱、鼻水、クシャミ、目ヤニなど。下痢から脱水症状を起して衰弱が進み死亡することもある。

クラミジア感染症

【原因】猫のクラミジアが原因。
【感染経路】感染猫との接触で感染します。
【症状】主な症状は、粘着性の目ヤニを伴った慢性持続性の結膜炎。また、鼻汁やクシャミ、咳などが現れ、時に気管炎、肺炎などを併発し、重症化する死亡することもあります。

ワクチン接種が普及していない
& 予防できない感染症

次の二つは、感染しても必ずしも発症するわけではありませんが(感染の有無は血液検査で判明)、発症すれば致死率の高い感染症です。早期に発見し治療することで、よい状態を長く保てる場合もありますが、完治はしません。
猫免疫不全ウイルス感染症(FIV)は、現在、国内でもワクチン接種が可能になりましたが、まだ他のワクチンほど実績はなく、また猫伝染性腹膜炎(FIP)にはワクチンがありません。予防のためには、感染の恐れがある他の猫との接触を避け、室内での飼育が望まれます。

猫伝染性腹膜炎 (FIP)

【原因】コロナウイルスが原因。猫に感染するコロナウイルスにはいくつかあり、猫伝染性腹膜炎を起すものと腸炎を起す腸炎性コロナウイルスがあります。
【感染経路】発病した猫の唾液、鼻水、便、尿から、直接または間接的に経口・経鼻感染しますが、感染力はあまり強くありません。
【症状】初期の症状には食欲消失や発熱が見られたりします。重症になると腹水や胸水、黄疸の症状が出たり、他の臓器も侵され、様々な症状も発現します。

猫免疫不全ウイルス感染症 (FIV)

【原因】一般に猫エイズと呼ばれる病気ですが、人のエイズとはまったく異なる別の病気や、人や他の動物に感染することはありません。
【感染経路】感染は猫どうしの接触によるもので、ケンカなどでの咬み傷から感染する場合がございます。
【症状】猫エイズウイルスに感染し、病気が発症し免疫不全を起して初めて猫エイズとなります。感染しても発症していない猫は、無症状キャリアと呼んで区別しています。